

文部科学省「共同利用・共同研究拠点」

大阪市立大学先端的都市研究拠点 事業総括シンポジウム

URP
Osaka City University
大阪市立大学
都市研究プラザ

大阪市立大学都市研究プラザは、2006年の設立以来、世界及びアジアの都市をフィールドに据え、文化創造と社会包摂に資する先端的都市論の構築を目指してきました。

2014年度には、文部科学省・共同利用・共同研究拠点「先端的都市研究拠点」として認定されました。さらに、最初の3年間は「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業～スタートアップ支援」に採択されました。それまで内外の連携研究機関とともに蓄積してきた研究・学術資源を、地域や一般社会と深く共有し、協力関係の強化へとつなげ、さらに先端的都市研究をスケールアップしていくための拠点として、整備を進めてきました。その結果、2016年度までの活動について、「中間評価」でA評価を受けました。今後は、国際的なネットワークのハブとして国際共同研究をけん引するとともに、政策立案能力を備えたアクションリサーチャーを育成するなど、さらなる機能強化が期待されています。

来る2019年度は、拠点認定の最終年度に当たります。このシンポジウムでは、若手研究者や共同研究者、海外学術機関、行政関係者からの報告を交えて、本拠点の5年間の取り組みを総括するとともに、今後を展望します。皆様の参加をお待ちしております。

2019年 2月 2日(土) 10:00～17:45

大阪市立大学高原記念館学友ホール(JR「杉本町」徒歩5分)

主 催：大阪市立大学都市研究プラザ・先端的都市研究拠点

参加費：無料（事前申込不要）

問合せ：558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学都市研究プラザ 先端的都市研究拠点事務局

06-6605-3444（直） joint_office@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

プログラム

1. 事業成果報告
2. 招待講演 共同利用・共同研究拠点の機能強化について
文部科学省 研究振興局 学術機関課より
3. 共同研究課題の成果報告
東アジアインクルーシブ都市ネットワークの構築に向けた研究
地方都市における子どもの貧困に関する研究—「社会的排除率」の理論化—
空き家の改修と利活用によるレジリエントなコミュニティづくりの形成に関する研究
東アジア先進大都市における「サービスハブ」の空間的形成過程—ローカルな住宅市場を中心に—
地域共同のまちづくりによる社会的不利地域の再生に向けたアクションリサーチ
4. 先端都市特別研究員（若手）終了者の研究報告
湯山篤（ソウル大学校博士課程）・G.コルナトウスキ（九州大学講師）・水野延之（岩手大学准教授）
5. 海外招へい者特別講演
Yip Ngai-ming (City University of Hong Kong)
Zong Ying Zhou (Fu-Jen Catholic University)
Myoung-Shik Kim (Spelman College)
6. EAICN-Japan の活動報告
7. 総括討論